

2008年度大会から、公認レフリーのいないクラブは東京都クラブ選手権大会へ出場できません

クラブ帯同公認レフリー・育成プログラム

＝2008年度完全実施に向けて＝

東京都クラブ選手権大会は、かねてからの予告どおり、2008年度から全ての出場クラブに公認レフリーの帯同を義務化します。

クラブ委員会では2002年から各クラブが最低1名の公認レフリーを持つための6カ年計画事業を開始しました。事業開始以来、各クラブとも着々と公認レフリーを養成し、既に複数の公認レフリー、B級以上にランクアップしたレフリーを有するクラブも出現しました。東京都クラブ選手権大会は、「自分たちの大会は自分たちで作る」というく出場チーム参加型大会運営を基本としています。その一環として、各チームの公認レフリー中心に大会のレフリー & タッチジャッジを担当するというシステムを目指しています。クラブ委員会は、各クラブで公認レフリーを発掘養成し、ランクアップする制度を全面的にバックアップします。

● クラブ帯同公認レフリー制度の意義

- ①より正確なレフリングによって練習や試合をすることで、チームの競技力を向上させる。
- ②ルールコーチとして、「競技規則」や「ラグビー憲章」に関する理解度を促進する。
- ③レフリーもレフリングを通じてクラブライフを楽しむ。

ラグビーの発展は、「競技規則」の正しい理解と運用をプレイヤーとレフリーとが共有できてはじめて達成されます。レフリングの向上が、規律ある健全なラグビーの発展、また、よりエキサイティングで、よりエンジョイできるラグビーの促進に不可欠なことは論を待ちません。

各クラブが自チーム内に公認レフリーを有することによって「競技規則」に関する理解を深めるとともに、各クラブに帯同する公認レフリーが「ルールコーチ」の役割を果たすことは、大きな成果をもたらします。また、東京都クラブ選手権をはじめとする各種のクラブ大会においてクラブ帯同公認レフリーが相互の意見交換、交流を図ることでレフリー自身のレフリングの向上と、その成果のチームへのフィードバックが期待されます。

● チームとレフリーとの創造的関係の構築

現在のラグビー界ではレフリング上の疑義などが生じた場合、往々にしてその試合を担当したレフリーがチームから激しく攻撃される事例が不幸にもあちこちで見受けられます。これは、まったく不毛の論争です。そうではなく、担当レフリーと各クラブに帯同する公認レフリーとが純粋にレフリング上・ルール上の問題点として捉え、その疑義をお互いディスカッションして解決を計って行く。そういう生産的方向にエネルギーは費やすべきなのです。レフリーとチームとの創造的関係の構築——これがクラブ帯同公認レフリー制度の大きな狙いの一つです。

各クラブが自チーム内に有能な公認レフリーを帯同させる。そのレフリーがクラブの「ルールコーチ」となり、ルールに関する理解度、熟知度の向上、反則の未然防止等々々に貢献する。クラブ帯同公認レフリーはチーム力強化に直結します。

● クラブ帯同公認レフリーの役割と行動

クラブ委員会が進めているクラブ帯同公認レフリー制度は、大きく分けると次のような役割像を想定しています。

(モデル1) クラブ帯同公認レフリーとしてC級レフリー資格取得後、自チームの試合だけでなく各種大会や

試合のレフリーを数多く体験し、また他セクションの研修会や講習会にも積極的に出席し、次なるステップ＝すなわち、B級(関東協会公認)レフリーやそれ以上のランクを目指して活動したい。

(モデル2) なるべく自チーム、自リーグと同一行動をとりたい。他セクションの試合に派遣されることは遠慮したいが、公認レフリーとして最低限のレフリング・スキル、知識、情報に関しては常に研鑽し、自チームや自リーグの「ルールコーチ」としての役割を果たしたい。

上記のモデルは理想型ですので、その中間型なども存在します。いずれにせよ、どちらの場合も「チームレフリー」や「ルールコーチ」として、各クラブに対してレフリーの存在意義、ルールの解釈、レフリングの方向性等を伝達し、ラグビー精神の再確認とクラブチームの地位向上に、ラグビーマナーやルール面から貢献する役割を期待されています。

クラブ帯同公認レフリー養成／2007年実施計画

1. 応募資格

- ①この制度の目的、趣旨を理解し、レフリーを志す方であれば、経験、年齢、性別は問いません。但し、レフリーとして走れることが条件です。
- ②走力に関しては、マルチフィットネステストの<レベル10>が目安です。

2. クラブ帯同公認レフリー(候補者含む)研修会

次年度完全実施に向けて、各チームの帯同レフリーの方々に集まっていただき、以下のようなミーティングを実施しました。4月以後は、グラウンドでの実技講習会に参加いただきます。

クラブ帯同公認レフリー研修会(有資格者、未公認者)

- ・3月10日(土)、17日(土)
- ・10:00分～12:00分
- ・秩父宮ラグビー場クラブハウス

- ・未公認レフリーに関しては、これから1年間で公認レフリーになるべく、各種研修会、講習会等へ参加いただきます。
- ・すでに資格を有する方は、未公認レフリーのチューター役になって育成にご協力ください。
- ・各チームのルールコーチとして、ルール改正の伝達講習会に参加いただき、それを各チームにもって帰っていただきます。

3. レフリー候補者(未公認者)受講申込

- ・4月20日(金)までに事前調査項目をFAXにて協会へご連絡下さい。 5項参考

- ・まずはC級レフリーの資格取得からスタートです。
- ・申し込みのあった方に、今後のスケジュール等をお知らせします。

4. 公認レフリー（C級）認定までの流れ

(1)「東京都新規レフリー講習会」(座学研修)に出席する

座学による「勉強会」を受講し、レフリーの楽しみ、レフリーのあり方、レフリーの基本、競技規則の読み方、ルール理解・・・等々について学びます。

(2)「レフリー実施記録票」を受け取る

勉強会1回、実技見学研修会1回を受講した方には、受講修了証を兼ねて、<レフリー実施記録票>を交付します。

(3)実際にレフリーをやる(最低10回)

自チームの練習マッチ、プライベートリーグなど、試合の種別を問わず、各自で実際にレフリーをやってみて下さい。レフリーを務めたゲームは、<レフリー実施記録票>に必要事項を記載します。10試合に達したら、クラブ委員会内の「レフリー小委員会」に申し出て下さい。

(4)C級レフリーへ推薦します

上記の(1)から(4)をクリアした方に対して、小委員会が実技を拝見し、推薦にふさわしいと判断した方には東京都協会レフリー委員会へC級レフリーとして推薦致します。

*レフリーをやってみて色々疑問点が出てきたら、遠慮なく小委員会メンバーまたはお近くの公認レフリーまでお問い合わせ下さい。前任レフリー諸氏はあなたのあたたかいアドバイザーとなることでしょう。

* 詳細は申し込みをされた方にご連絡いたします。

5. 春季(2007年)の養成プログラム日程

申込締切:4月20日(金)までに、FAXにて協会へご連絡下さい。

研修日程:①「東京都新規レフリー講習会」(座学研修) 5月12日(土)、5月19日(土)、
いずれも、10:00分～12:00分

*12日は、東京体育館研修室

*19日は、秩父宮ラグビー場2F大会議室